

教科	美術	学年	1年	時間数	1.3 / 週
使用教科書 副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・美術1 美術との出会い（日本文教出版） ・美術 表現と鑑賞－栃木県版（開隆堂） 				
学習の目標					
<p>◆ 美術科の授業を通して養う力と態度 ◆</p> <p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</p> <p>(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</p> <p>【題材の目標】</p> <p>1. 遠近法と色彩理論</p> <p>(1) 一点透視図法・二点透視図法などの理論に基づいた描写技術を習得する</p> <p>(2) 三原色・色の三属性・色相環などの基本的な色彩理論を学習する</p> <p>2. 絵画制作「なぜか気になる情景」</p> <p>(1) 身近な風景を見つめ直し、自分なりの視点を発見する</p> <p>(2) 遠近法・色彩理論を作品制作に応用する</p> <p>(3) アクリルガッシュの使い方を習得する</p> <p>3. デザイン・工芸「自然の美しさから生まれた」</p> <p>(1) 蜂の巣のハニカム構造などの自然を活かしたデザインを味わう</p> <p>(2) 自然の美しさを活かしたオリジナルのデザインを考案する</p> <p>4. 抽象表現</p> <p>(1) 抽象作品を自由に楽しみ、作品解説と合わせて幅広く味わう</p> <p>(2) 擬音語や音楽を形にすることで抽象表現に挑戦する</p> <p>5. 鑑賞</p> <p>(1) 教科書と副教材を用いて美術の幅広さを学ぶ</p> <p>(2) アートとデザインの違いを理解する</p> <p>(3) 作品がコンセプトに沿って制作されていることを理解する</p>					

